

新しい仏壇デザインの開発

デザイン・工芸部 藤田純一，惠原 要

1. はじめに

全国でも有数の仏壇産地である川辺町で生産されている仏壇は主に「京型仏壇」と言われるもので、仏壇としては標準的なデザインである。しかし近年、仏壇に関わる住環境は大きく様変わりし、消費者のニーズも多様化している。それに伴い仏壇にも様々なデザインが求められるようになってきている。そこで、平成10年に当センターと川辺仏壇協同組合青年部とで研究会を設立し、新商品開発に関する様々な研修を行いつつ、新しいデザインの仏壇を開発した。

2. 新しいデザインの開発

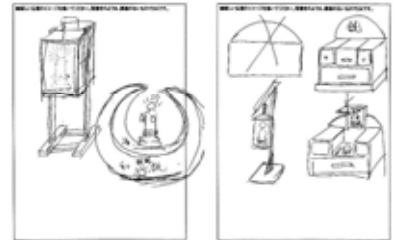
開発にあたっては、多種多様なニーズが想定される関東方面の市場をターゲットとし、デザインのコンセプトは、現代の住宅事情や生活文化に適した現代型仏壇を商品化することとした。特に、無宗教、しかし心の癒しは欲しいと考えている都会人の感性に適した仏教色の薄い仏壇を狙うことにした。



デザイン研修の様子



分析・分類したイメージスケール



ラフスケッチ

3. 新しいデザインの仏壇の試作

多数検討した新しいデザインの仏壇の中から、特に優れていると思われる案を試作し、幸いにも好評を頂いた。



厨子型仏壇:轟 一博氏



鏡小型仏壇:芝原 重志氏



インテリア仏壇:吉留 俊三氏



壁掛け仏壇:有蘭 英樹氏



和紙仏壇:田中 昌昭氏